

AI時代と市民安全:その光と影

人間知能（警察技能伝承官 PI） vs 人工知能（AI）

近年、AI（IoT・ICT・ロボット等）が、新たな文明の利器として市民生活に浸透し始め多くの恩恵と未来への「光」となっている。他方、この新技術の畏（盲点）や悪用等の「影」が、市民生活に新たな脅威と不安を与えている。「光の多いところには、強い影がある」（ゲーテ）との言葉があるが、AIは、「幸運の女神」なのか「モンスター」なのか？

フォーラムでは、人工知能ブームの契機となったディープラーニング、新技術の安全の「光」の安全インフラ関係で、京都府警の予測型犯罪防御システム・高齢者の生活現場のリビングラボの3例を紹介頂き、次に「警察技能伝承官」(注)の観察眼が見る「影」3例（盗犯の新手口、暴力団等反社会的団体（犯罪インフラ）、自動運転）の動向を紹介頂き、さらに有識者を交え議論を深めたいと思います。

(注)「警察技能伝承官」とは、様々な時代・社会現象の「影」をいち早く察知し、市民生活の安全のため命がけて「新たな社会安全インフラづくり」の最前線を担ってきた警察の志士達である。

日時；2018.9.20（木）開場 13:00

開演 PM.1:30～PM.5:30

会場：グランドアーク半蔵門 3F 華の間

入場無料 事前登録制（申込み先：警察政策学会

事務局 FAX 03-3230-7007：

メール info@asss.jp

主催：警察政策学会 市民生活と地域の安全創造研究部会

後援：警察政策研究センター、日本市民安全学会

危機管理フォーラム

第1部 AIの原理とAIの安全の光

◎企画趣旨と進め方（以下演題は（仮））

- ディープラーニングの表と裏 2
- 京都府警の予測型犯罪防御システム 3
- 高齢者の生活現場でのリビングラボ 4

第2部 AIの影の正体（伝承官の目 予兆を掴め）

- 便利さの裏に潜む犯罪 5
- 交通安全—自動運転の裏側を注視せよ！ 6
- 組織犯罪の中核に位置する暴力団 7

第3部 討論（参加者全員）

人間知能（PI）vs 人工知能（AI）：市民安全の将来

第4部 総括講演 矢野雅文氏 1

- （仮）AIの有効性と限界性：市民安全への示唆

出演者・プロフィール



1 矢野雅文氏

東北大学名誉教授、元東北大学電気通信研究所所長
生命情報学「人間はどのようにして考えるのか」を研究



2 佐藤 浩氏

防衛大学校
電機情報学
群情報工学
科 知能情報
研究室
准教授

お写真
不掲載

3 上田幸則氏

京都府警察
本部刑事部
刑事企画課
捜査支援分
析センター
所長補佐



4 西田佳史氏

産業技術総
合研究所
人工知能研
究センター
首席研究員



5 富田俊彦氏

前警察庁伝
承官（盗犯捜
査）
（公）日本防
犯設備協会
特別講師



6 新倉 聡氏

警察庁指定
シニア広域技
能指導官、公
財）日本道路
交通情報セン
ター
通信施設部兼
調査部専門役



7 中林喜代司氏

元警視庁暴力
団対策課長
（公財）全国
暴力追放運動
推進センター
担当
部長



8 石附 弘氏

警察政策学
会 市民生活
と地域の安
全創造研部
会長
日本市民安
全学会会長